

新春対談 2016

市長
×
新成人



YAMASHITA



TSUJI

つじ かなこ
辻 可南子

美容師になるため専門学校で勉強しています。趣味は、写真を撮ることとペットショップに行くとかわいい動物を見ることが好きです。今年の目標は、社会人としての自覚を持つことです。



YAMADA

やまだ としや
山田 俊哉

ファイナンシャルプランナーを目指して大学で学んでいます。休日は、ギターやピアノを弾いて気分転換をしたり、ボランティア活動に参加しています。今年は、たくさんの知識をつけて大きく成長したいです。



NAKAYAMA

なかやま はるか
中山 遥加

教員免許の取得に向け、大学で勉強しています。大学に入ってから一人暮らしをしていて、生活力を身につけています。今熱中していることは、大学のイベントスタッフ活動。仲間と一緒に学生生活を楽しんでいます。



SONODA

そのだ まさや
園田 将也

大学では、各世代に合った健康指導やスポーツにおける指導力を高める勉強をしています。趣味は、スポーツをすることで、現在はバレーボール部に所属しています。また、仲間が集まってフットサルも行っています。

小牧市のさらなる
活性化を目指して

市長 皆さん、成人おめでとうございます。この対談では、皆さんの率直な意見を聞かせていただければと思います。よろしくお願ひします。

山田 私は市内の子供たちが多く参加し、成長につながっている「まつり」や「イベント」をこれからも続けてほしいと思っています。また新たな時代に順応させるよう改善を行い市を盛り上げることで、より活性化してほしいです。



市長 本市は、1年を通してさまざまな行事を行っています。市内最大のイベントである市民まつりの他にも国際交流事業や青少年の育成事業、福祉に関する事業などがあります。多くの皆さんに参加していただき、地域に愛着や誇りを感じてもらいたいですね。

また各種講演会などでは、共に考えていただくことで、少しでも地域のことにも関心を持ってもらいたいと思っています。

昨年秋には、小牧山で大人の夜を楽しむというコンセプトで「こまき信長夢夜会」を行いました。ここでは、野口にできた「小牧ワイナリー」のワインを提供しました。他にも小牧の色々なお店が出店し、多くの来場者で賑わいましたね。

中山 大盛況でしたね。チラシがとても綺麗でインパクトがあったので覚えています。

市長 昨年の10月4日に、「現在の新図書館建設計画」について住民投票を実施しました。住民投票の結果、反対意見が56%で現在の新図書館建設計画については見直すこととなりました。

今後についても、市民の皆さんの意見を丁寧に聞きながら、検討していくことが大切だと思っています。

スポーツ交流の拠点

園田 小牧のシンボルの一つであるパークアリーナでは、さまざまなスポーツの国際大会や全国大会が開催され誇りに思っています。

私は大学でスポーツの指導について学んでおり、これからもスポーツ交流を盛んにし、小牧に足を運んでくれる人が多くなつて欲しいです。



市長 世界的に有名なイタリアのACCミランが、日本の拠点として小牧子どもたちにサッカースクールを開校しています。さ

園田 市の活性化に関連し、新図書館建設について市長の考えを教えてください。

園田 と思っています。スポーツ交流に関しての考えを教えてください。

らに昨年、海外クラブチームの日本のサッカーチームのこども達を集め、パークアリーナで全国大会を行っています。

また、小牧と言えばダンスです。世界大会で優勝したチームを輩出しているダンススクールがありますし、市民まつりでもダンスコンテストが定着し、市

外からも多くの参加をいただいています。

さらには、毎年世界パレーなどの国際大会を行っています。市外からもお越しいただけるというのは、小牧の魅力発信につながっていることだと思っています。

安心・安全なまちづくり

中山 私は、幅広い世代の人が安心して住めるようなまちづくりが必要だと思いますが、それを実現するためには、何が必要であると考えますか。

市長 特に高齢化への対応です。

まず、福祉施設の充実を図ります。昨年5月に、岩崎県住地内の県有地に特別養護老人ホームを開設し、さらに

今年6月には、北外山に大規模な特別養護老人ホームを開設予定です。

また、昨年3月に市内の電気、ガス等の8業種84団体と高齢者等の見守りに関する協定を締結しました。このような地域における見守り・支え合いが特に大切だと思っています。

そして、一番の理想は、最後まで住み慣れた自分の自宅で生活ができることです。そのためにも、健康づくり支援を行い、寝たきりにならず、健康で長生きするという健康寿命を伸ばしていくことも大切です。

中山 生活の上で欠かせない公共交通の便に関しては、どのように考えていますか。



市長 例えば、巡回バスは昨年から、路線数を倍増し、原則1時間に1本走らせています。

また平成23年から、巡回バスの利用料金を65歳以上の方を無料にしています。経済面での支援もありますが、気軽に出かけ

ていただくことで健康につながり、買い物をするなど経済の活性化にもつながります。つまり、施策は全部いろんなところでつながっているんですね。さまざまな側面から高齢化への対応を

考えることが大切です。ただ、全てを行政だけでは実現できないので、地域の中で支え合う、助け合いの地域づくりを行っています。そこで小学校区単位で「地域協議会」を立ち上げ、いくつかの地域でもボランティアを活性化しようという仕組みづくりを進めようとしています。運営方法など取り組む課題も多いのが現状ですね。

人口減少社会の中 伸びゆく自治体 であるために

園田 行政の仕事は多岐にわたる、市民生活に欠かせないものばかりですが、今後力を入れていきたいという分野を教えてください。

市長 これから人口が減少すると、経済も縮小し、行政だけで

は市民サービスの維持・向上が厳しい状況となってくるでしょう。

そういった中でも小牧は、これからも伸びゆく自治体でありたいと思っています。

その実現には企業誘致、雇用の確保を行い、まちを活性化していく。そのことが、税収の確保、福祉の充実にもつながっていくと考えます。経済と福祉とは両輪です。

ご創生法が公布され、魅力ある多様な就業の機会の創出、個性豊かで多様な人材の確保、国民一人一人が夢や希望を持つ地域社会の形成を一体的に推進することとされています。

そこで小牧では今、人口減少の抑制を目指して「まち・ひと・しごと創生戦略会議」を行い、子育て世代が住みたいと思うまち、ずっと住み続けたいと思うまちとなるよう、魅力的なまちづくりを行い、内外に小牧の魅力を発信していきたいと思っています。

夢・チャレンジを応援

辻 私は美容師になる夢に向かって、日々努力しています。これからの小牧を担う若者たちに何かメッセージはありますか。

市長 そうですね。やはり夢を持ってチャレンジを続けてほしいです。夢を実現するまでに、どこかで挫折があるかもしれま



せん。しかし、そこでめげることなく、初心を忘れずに頑張ることが大事だと思います。

市では、小学校5年生のことも対象に「夢の教室」を開催しています。いろんな競技のトップアスリートのOBやOGが小学校に来てくれて、教壇に立ち、さまざまな挫折を乗り越え、夢を持ち続け努力し続ける大切さを教えています。そういうことが大事なことはないかと感じています。

そしてその夢を実現するために何が必要なのか、まずは将来の理想の自分を描き、今の自分に足りないものを見つけ、どうしたら実現できるかを明確に思い描くことが大事ですね。そのために今何を頑張るか、皆さんにもぜひそれぞれ夢を持って、小牧山城を築城した織田信長のように豊かな発想と行動力を持ち日々努力して欲しいと思います。

皆さんがかなうよう願っています。

新成人一同 ありがとうございました。

対談後記

今まで知らなかった生まれ育った小牧市のことをたくさん学びました。山下市長の市をより良くしたいという熱い思いや、市民の皆さんに小牧市を好きになってもらおうとさまざまな活動をしていることを知り、私も視野を広げ、いろいろな行事に参加していけたらいいなと思いました。



辻 可南子

愛知中央美容専門学校生

また私のように今まであまり関心を持っていなかった方々にも小牧市の政策や活動を知って欲しいです。みんな協力し合いより良い市を目指していくことが大切だと思います。

これから迎える人口減少社会のためにさまざまな施策を試みたり、見直すべきところは改善し前進している事を知り、これからの小牧市がどのように進化していくかとても楽しみです。市の行事や子育てしやすい環境整備などに関しての市長の考えを聞き、市の事を知る良い機会となり、とても興味を持ちました。広報こまきや新聞・ニュースにも目を通して、大人になった自分に何ができるか考えていきたいです。そして少しでも魅力あるまちづくりの力になりたいと思います。



園田 将也

至学館大学生

大人になってから、小牧市のシンボルと言われている小牧山に山下市長と登ったことで、今まで知らなかった事や新たな発見がありました。海外では、自分の生まれ育った地域のことや祭り



山田 俊哉

中京大学生

のことを説明できるのは、当たり前なことだそうです。小牧市により関心を持ち、さらに知識を深めることで小牧市をより一層、好きになることができると思います。その力を原動力に、より良いまちづくりに貢献していきたいと思っています。

最近の市の取り組みについて知らないこともありましたが、今回の対談で実際に小牧山に登ったり直接山下市長からお話を聞き、小牧の魅力に触れることができました。これからもお世話になる市をもっと好きになり、魅力的に感じる事ができるよう、今まで以上に市の動きを知り、まちづくりに参加していきたいと感じました。さらに、周りの人たちとも小牧の良さを共感し合えたらいいなと思います。



中山 遥加

愛知教育大学生

今回は貴重なお時間をありがとうございました。

